

2020年度放射線教材コンテスト

審査基準

審査は、以下の「基礎点」と「加点」の審査基準を用いる。基礎点は可否の2段階で評価し、下記の各項目が全て可とならなかった応募作品については選外とする。加点は、2つの観点それぞれにつき5段階で評価し、各実行委員の合計点を平均して選考を行う。

なお、実行委員が所属する大学から応募された作品について、該当する実行委員はその作品に対して選考しないこととする。

1. 基礎点

- ・ ブースで実演できる内容であること
- ・ 実演を行うにあたり、参加者等に危険性のないこと（放射性物質の管理を含む）
- ・ 実演を行うにあたり、著しく費用がかかる等の大きな障害のないこと
- ・ 教育上不適切な表現、人によっては不快感を抱かせるような表現のないこと
- ・ 放射線教育普及の観点から、教育現場等での応募された教材の活用に、応募者が同意していること（活用に際しては公表される予稿を引用する。）
- ・ 指導教員による指導が受けられること

2. 加点

（1）学校等における放射線教育の普及啓発に資する教材であるか

- ・ 対象と伝えたい内容が、発達段階に合わせて適切に設定できているか
- ・ 教職員にとって取り組みやすい内容となっているか
- ・ 材料が、安価かつ入手しやすいものであるか

（2）放射線に関する正確な知識理解、普及啓発に資する教材であるか

- ・ 目的が明確であり、伝えたい内容が、わかりやすく表現・模擬できているか
- ・ 教材が表現・模擬できていない（誤解を生む可能性がある）内容を区別し、その理由を科学的に説明できているか
- ・ 応募教材に関係する先行研究、参考文献をひろく引用しているか
- ・ 福島第一原子力発電所の事故以後今もなお根強く残る風評や偏見・差別の払拭への寄与が期待されるか

以上